

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金……………賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込額を計上している。

退職給付引当金……………期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

なお、当期末においては対象職員がいないためいずれも計上はない。

(3) リース取引の処理方法

重要性の乏しいリース取引で、リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のリース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	5,000,000	5,000,000
小 計	10,000,000	0	5,000,000	5,000,000
特定資産				
学会助成積立資産	800,000	1,080,000	800,000	1,080,000
小 計	800,000	1,080,000	800,000	1,080,000
合 計	10,800,000	1,080,000	5,800,000	6,080,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	( 0 )	( 5,000,000 )	( - )
小 計	5,000,000	( 0 )	( 5,000,000 )	( - )
特定資産				
学会助成積立資産	1,080,000	( 1,080,000 )	( 0 )	( - )
小 計	1,080,000	( 1,080,000 )	( 0 )	( - )
合 計	6,080,000	( 1,080,000 )	( 5,000,000 )	( - )

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。  
(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	280,000	279,999	1
合 計	280,000	279,999	1

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。  
(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
学会助成事業の実施による振替額	2,800,000
合 計	2,800,000